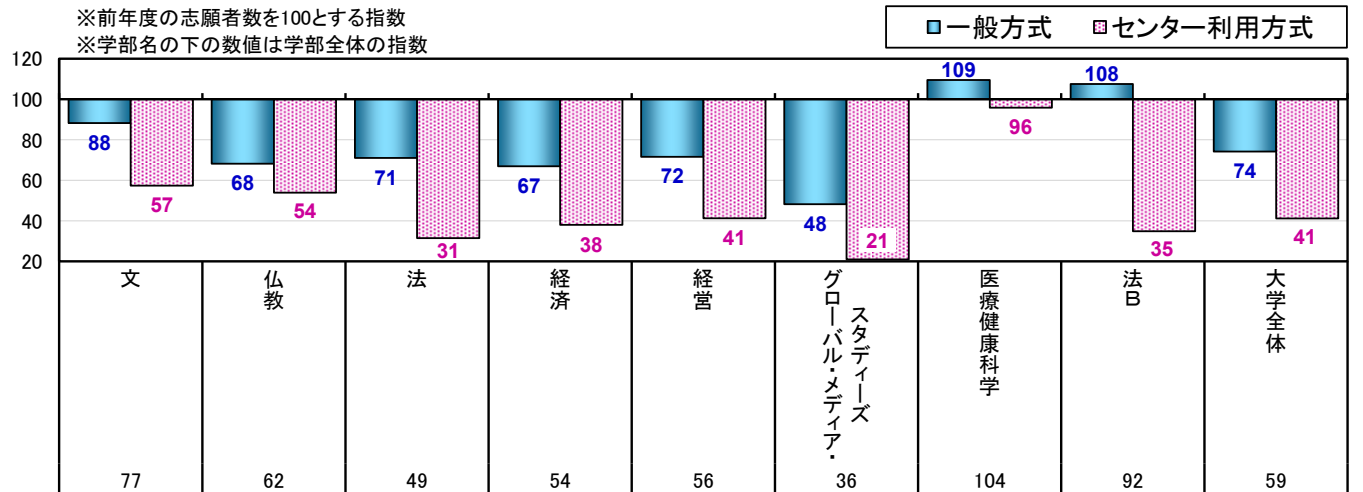


# 2020 年度入試状況分析【私立大】

駒澤大：前年度の厳しい入試で敬遠されて大幅減少

一般：-6,835 人 センター：-13,055 人



## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、19,890人(59)の大幅減少。前年度志願者数が約9%増加したにもかかわらず、合格者数を17%減少させたことで厳しい入試になったことから敬遠された。2方式とも大幅減少だが、特にセンター利用方式(41)は60%近い大幅減少。前年度の合格最低点が大きくアップしたことが影響し、大学全体の減少数の約66%がセンター利用方式での減少数。学部別では、医療健康科学(104)のみ増加。

### <一般方式>

- 文(88)は、2年連続減少。学科・専攻別では、(地理/地域環境研究)(154)、(社会/社会福祉)(126)は大幅増加だが、(歴史/考古学)(68)、(英米文)(72)、(歴史/日本史)(74)、(社会/社会)(77)は大幅減少。
- 法(71)は、系統への人気低下で2学科とも大幅減少。
- 経済(67)は、系統への人気低下で大幅減少。3学科全てが大幅減少し、特に(現代応用経済)(35)は激減。
- 経営(72)は、系統への人気低下で大幅減少し、4年ぶりに減少。2学科とも大幅減少し、(経営)(75)は2年連続減少。
- グローバル・メディア・スタディーズ(48)は、前年度全募集単位が大幅増加した反動で、全募集単位が大幅減少。
- 医療健康科学(109)は、3年連続減少の反動で増加。

### <センター利用方式>

- 文(57)は、2年連続大幅減少。学科・専攻別では、前年度激減の(社会/社会福祉)(199)はほぼ倍増で唯一増加。一方で、(英米文)(35)、(歴史/考古学)(36)は激減。
- 法(31)は、2年連続増加の反動で激減。2学科とも大幅減少し、特に(政治)(22)が激減。
- 経済(38)は、激減。3学科全てが減少。学科・方式別では、(現代応用経済)〈セ・前期〉(7)は、前年度合格最低点が得点率で15ポイント以上も大幅アップしたことが影響し、志願者数が2,184人→163人と激減。
- 経営(41)は、2学科とも大幅減少。特に(市場戦略)(28)は激減。
- グローバル・メディア・スタディーズ(21)は、前年度激増の反動で激減。